

～アフリカの可能性～

# 食料安全保障



ブラジル・サバンナ(セラード)農業開発の知見を  
モザンビーク熱帯サバンナ開発へ

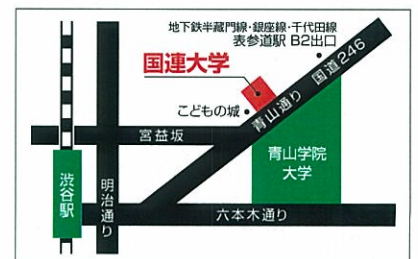
A New Approach for FOOD SECURITY in Africa  
starting in 'Nacala Corridor Region' of MOZAMBIQUE



2010年3月17日(水) 10:00~17:30 (開場9:40)

場所: 国連大学ウ・タント国際会議場 (渋谷区神宮前5-53-70)

基調講演: エディソン・ロバット氏 (2006年度世界食料賞受賞)  
「セラード農業開発の経験とアフリカ熱帯サバンナ農業開発への展望」





日伯両国は、ブラジルの熱帯サバンナ地域にあるセラードにおいて、20年に亘り農業開発を行い、世界の食料安全保障に大きく貢献してきました。また両国は日伯パートナーシップを2000年に締結し、アフリカ開発に協同で取り組む枠組みを立ち上げました。この枠組みを通じ、セラード農業開発で培われた両国の知見をモザンビーク熱帯サバンナにおける農業開発に活用するため、日伯モザンビークの三カ国が連携し、農業開発に取り組むこととなりました。

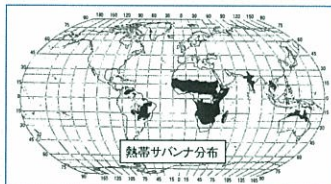
今般、この三角協力の基本構想が三カ国間で合意され、モザンビークとブラジル・セラード農業分野における基本的な調査が終了したことに伴い、東京にて国際シンポジウムを開催することとなりました。三カ国の関係機関、国際機関・ドナー国援助機関、大学・研究機関、民間企業などから有識者を招聘し、モザンビークを舞台とした熱帯サバンナ農業開発に係る可能性と課題を議論したいと思います。

JICA副理事長 大島賢三

### 3カ国情報

	ブラジル	日本	モザンビーク
面積	851.2万km <sup>2</sup>	37.8万km <sup>2</sup>	79.9万km <sup>2</sup>
人口	約1億9,400万人	約1億2,700万人	約2,140万人
首都	ブラジリア	東京	マプト
言語	ポルトガル語	日本語	ポルトガル語

(人口:2007年および2008年国連統計参照)



出典:Young & Solbrig(1993).

アフリカの熱帯サバンナは7億ヘクタールにのぼり、うち4億ヘクタールが農業適地です。モザンビークには、5,500万ヘクタールの熱帯サバンナがあります。

### プログラム

#### 講演者及び講演内容

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>9:40</b> 開場</p> <p><b>10:00</b> 開会挨拶<br/>JICA副理事長 大島賢三氏<br/>ブラジル国際協力庁長官 Marco Farani氏<br/>モザンビーク農業大臣 Soares B. Nhaca氏</p> <p><b>10:30</b> 基調講演:<br/>「セラード農業開発の経験とアフリカ熱帯サバンナ農業開発への展望<br/>～農学研究者の立場から～」<br/>Edson Lobato氏 (2006年世界食料賞受賞者)</p> <p><b>10:50</b> 映像紹介:セラード農業とモザンビークの現状紹介</p> <p><b>11:20</b> ProSAVANA—JBM構想の紹介<br/>JICAアフリカ部長 押山和範氏<br/>(株)オリエンタルコンサルタンツ 松本計司氏</p> <p><b>12:00</b> (休憩)</p> <p><b>13:10</b> 講演—セラード農業開発の経験<br/>「日伯セラード農業開発協力事業 (PRODECER) の成果と事業管理」<br/>CAMPO社社長 Emiliano P. Botelho氏<br/>「EMBRAPAとセラード農業開発:持続的農業開発を支えた研究ネットワーク」<br/>EMBRAPA総裁 Pedro A. A. Pereira氏<br/>「セラード地帯での小規模農業と技術普及事業の役割」<br/>ブラジル連邦直轄区知事農業補佐官 Carlos Magno氏</p> | <p><b>14:10</b> 講演—モザンビーク熱帯サバンナ農業の現状と潜在力<br/>「モザンビーク国家農業開発計画と熱帯サバンナの開発」<br/>モザンビーク農業大臣補佐官 Ventura Macamo氏<br/>「モザンビーク熱帯サバンナ農業研究の課題」<br/>モザンビーク国立農業研究所 (IIAM) 所長 Calisto Bias氏<br/>「モザンビーク熱帯サバンナ地帯の小農組織化と発展の可能性」<br/>CLUSA代表 Martin Mason氏</p> <p><b>15:10</b> (休憩)</p> <p><b>15:30</b> パネルディスカッション<br/>パネリスト:モザンビーク農業大臣 Soares B. Nhaca氏<br/>Edson Lobato氏<br/>EMBRAPA総裁 Pedro A. A. Pereira氏<br/>国際農林水産業研究センター 生産環境領域長 伊藤治氏</p> <p><b>16:30</b> 質疑応答</p> <p><b>17:00</b> 閉会の挨拶</p> |
|--|---|

言語:日本語、英語、ポルトガル語 同時通訳

### 主要講演者プロフィール

#### エディソン ロバト Edson Lobato | 2006年世界食料賞受賞者

1940年ブラジル生まれ。南イリノイ大学(農学修士/1973年)にて学位を取得。セラード地域を生産的農耕地へと導いた功績によって2006年世界食料賞を受賞したブラジル人土壌肥料学者である。ブラジル農牧研究公社(EMBRAPA)において農家と研究者と共同して技術実践と先行実験を行った。セラードの土壌肥料と土壌管理に関して80を超える著作を持ち、そのうちの「セラード土壌矯正と施肥」(“Cerrado: Soil Correction and Fertilization”)は土壌改良に取り組む農家や研究員、学生にとって必携の書となっている。

#### ソアレズ ボンハザ ニヤッカ Soares Bonhaza Nhaca | モザンビーク農業大臣

1952年10月12日、マプト市イニャカ地区で生まれる。ドイツ・ベルリンで(労働)組合学を履修。1976年マトーラ(Matola)、マプト(Maputo)等で労働組合活動を開始し、翌年マトーラ組合リーダーとなる。1978年～1980年、モザンビーク労働者組合中央組合事務総長局(OTM-CS)の局長を務め、1980年～1984年、在东ドイツOTM-CS代表、1984年～1997年、OTM-CS事務総長を務める。1997年～2000年にマプト州知事、2000年～2005年にはマニカ州知事を歴任。2005年～2007年に労働副大臣を務めた後、2007年12月から現在に至るまで、農業大臣を務める(2010年1月に再任)。

#### ペドロ ペレイラ Pedro A. A. Pereira | EMBRAPA総裁

ブラジル、リオデジャネイロ生まれ。56歳。リオデジャネイロ連邦大学にて農学士の学位を取得し、米国ウイスコンシン・マディソン大学にて、遺伝学と植物繁殖学における修士号及び博士号を取得する。博士号取得後の研究テーマは分子遺伝学。1996年、インゲン豆における分子マーカーをカリフォルニア大学デイビス校にて作製した。EMBRAPA総裁以前には、ブラジル・ゴイアス州EMBRAPA Rice & Bean研究センター長を務めた。

- 主催、共催、後援機関情報  
主 催:独立行政法人 国際協力機構(JICA)  
共 催:モザンビーク共和国農業省、ブラジル国際協力庁  
後 援:外務省、農林水産省、国際農林水産業研究センター、  
東京農工大学、駐日モザンビーク大使館、  
駐日ブラジル大使館、読売新聞東京本社、NHK
- 定員  
250名
- 参加費  
無料
- 申込方法  
下記ホームページ上参加申込書に必要事項を記載の上、  
メールまたはファックスにてお申込ください。  
(締切日:3月5日(金) ※先着順)  
URL: [www.jica.go.jp/event/100317\\_01.html](http://www.jica.go.jp/event/100317_01.html)
- お問い合わせ先  
国際協力機構(JICA)アフリカ部 南部アフリカ第一課  
E-mail: [6rts1@jica.go.jp](mailto:6rts1@jica.go.jp) TEL:03-5226-8278



ミックス品

FSC登録及び管理された  
森林からの製品グループです  
www.fsc.org Cert no. SA-COC-002300  
© 1996 Forest Stewardship Council